

photopos 39

2017.4.14 ～ 2017.5.8

【神秘学ポエジー～風遊戯 第78集】

photo ヴァージョン

photopos951-975

神秘学遊戯団

photopos-951

2017.4.14



石畳を歩けば
木漏れ日は
ゆれる光の花

思い出を歩けば
時のかけらは
ゆれる心の花

言の葉を歩けば
物たちは語り
ゆれる詠の花



* 高知市・牧野植物園にて

photopos-952

2017.4.15



はて
どこへ

さて
なにを

まどいときは
まどいのままに

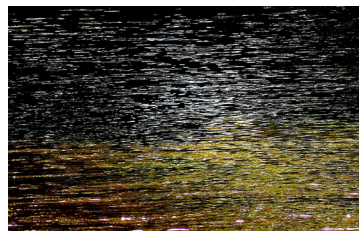
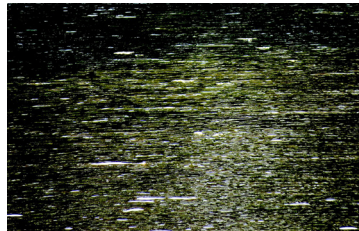
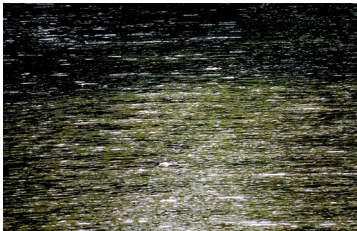
おろかなときは
おろかなままに

ほら
あちら

あら
こちら

さいはてなど
うそぶくまえに

ゆくえさだめぬ
こころのままに



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-953

2017.4.16



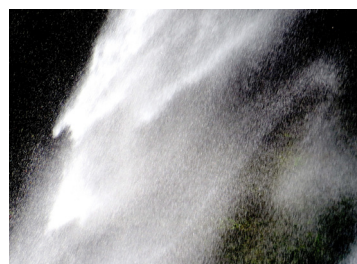
春の水
滔滔

春の風
飄飄

春の花
散散

春の天
変変

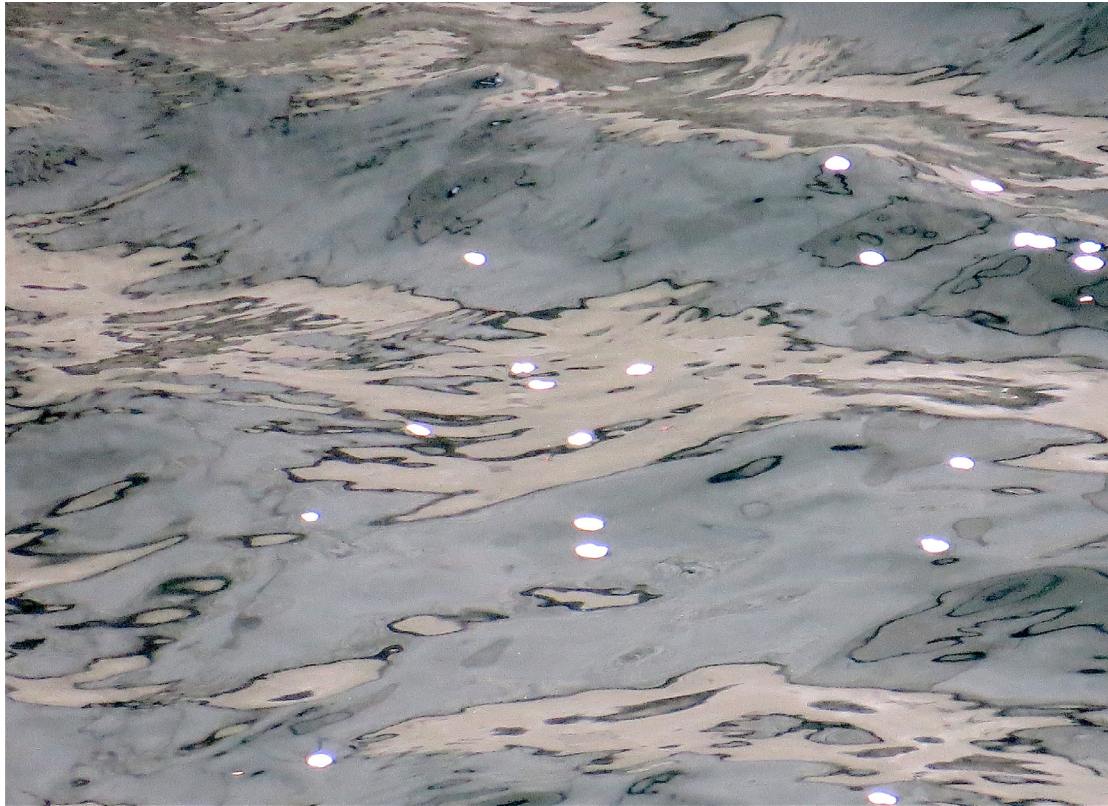
春の我
朴朴



*愛媛県松山市・石手川ダムにて

photopos-954

2017.4.17

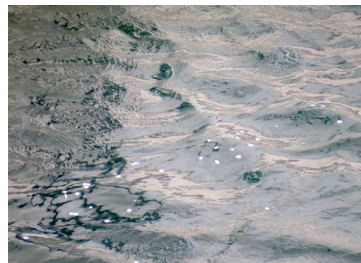
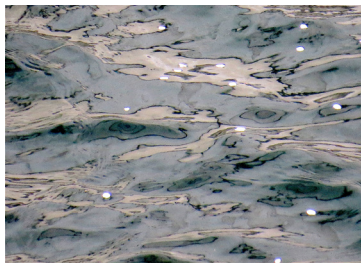


花の姿を
とどめんとて
甲斐なき技よ

花は花
されど
花は幻
されど
花は花

人の姿を
とどめんとて
甲斐なき技よ

人は人
されど
人は幻
されど
人は人



*愛媛県松山市・石手川ダムにて

photopos-955

2017.4.18



寄せて返すは
折節のけしき

季節の騒ぎの
あはれなりや

心驚かせては
過ぎゆくこと

ときめいては
去りゆくこと

徒に色めきつ
儚げに消えつ

寄せては返す
夢のまた夢よ



*愛媛県今治市菊間町にて

photopos-956

2017.4.19



つかのま
その影
その形

されども
わが影
わが形

光ありて
影深く

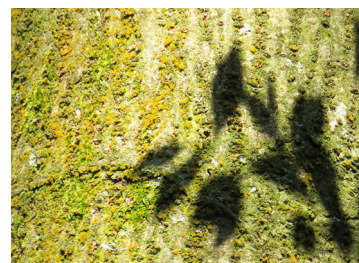
風ありて
揺れ惑う

声なき声に
驚きて

故なき道を
踏み迷う

つかのま
わが影
わが形

されども
心よ
わが心



*愛媛県伊予市・大谷池にて

photopos-957

2017.4.20



泥にはいのちが埋まっている
鳥たちは河口に集まり
じぶんたちのいのちを満たそうとする

闇には光が埋まっている
人は心の闇を歩きながら
深く眠ったままの光を探し求めている

今には永遠が埋まっている
時は水平にさまよいながら
深みに広がる永遠が見出されるのを待っている



*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-958

2017.4.21



いまここにあるもの
かつてここにあったもの
やがてここにあるもの
すべてがいまの深みで交わるとき

地は静かに積り
水は静かに留まり
風は静かに流れ
光は静かに交わり

いまわたしであるもの
かつてわたしであったもの
やがてわたしであるもの
すべてがいまの深みで交わるとき

体は秘かに地をむすび
血は秘かに水をむすび
息は秘かに風をむすび
心は秘かに光をむすび



*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-959

2017.4.22

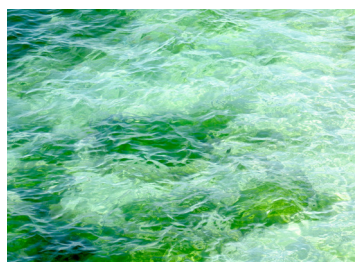
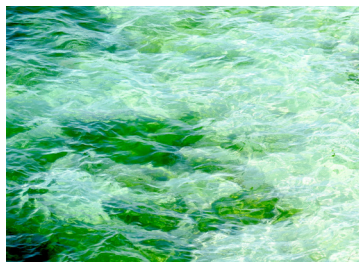


海がぼくに話しかけているから
その言葉がわかるように
ぼくは風になって駆けてみる

海の色は光のダンスだから
いっしょに踊れるように
目をくるくると遊ばせてみる

波の音は海の音楽だから
いっしょに歌えるように
耳を空にまで開いてみる

海の向こうにはなにがあるんだろう
地平線の彼方じゃなく
海という永遠の向こうに



*愛媛県今治市菊間町にて

photopos-960

2017.4.23



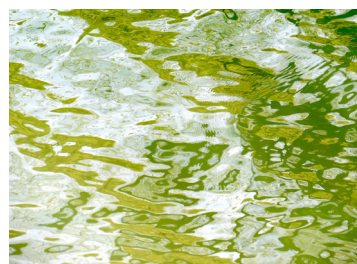
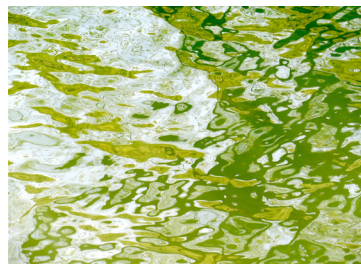
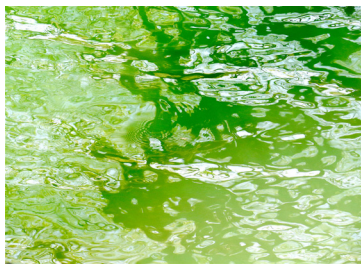
ぼくのなかの記憶が
季節のなかでゆらゆら

ぼくは変わってゆく
でもそれもまたぼくだ

ぼくはぼくだけれど
ぼくはぼくを変えてゆくのだ

ぼくはどこへ行こうとしているのだろう
変わりつづけるぼくとともに

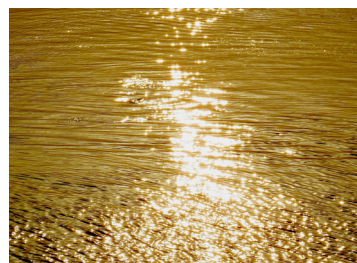
知らないぼくといっしょに
季節のなかでゆらゆら



*愛媛県伊予市・大谷池にて

photopos-961

2017.4.24



光の人よ
汝の内なる
光の人よ

祝祭の時は
近づけり

闇の人よ
汝を被う
闇の人よ

変容の時は
近づけり

星の人よ
汝の出でし
星の人よ

帰還の時は
近づけり

永遠の人よ
汝の内なる
永遠の人よ

人を超える時は
近づけり

*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-962

2017.4.25



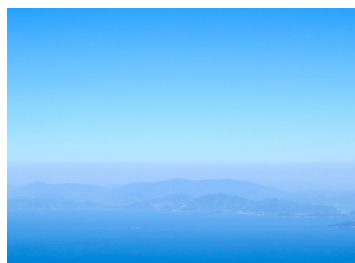
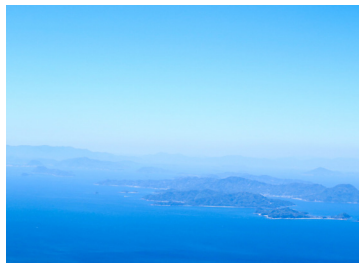
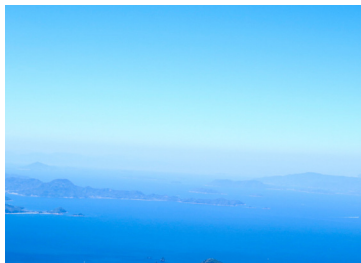
時は春
春の山

空となり
蒼に広がり

海となり
蒼に溶けて

島となり
蒼に浮かび

心は彼方
夢はるか



* 愛媛県松山市・高縄山頂から瀬戸内海を臨む

photopos-963

2017.4.26



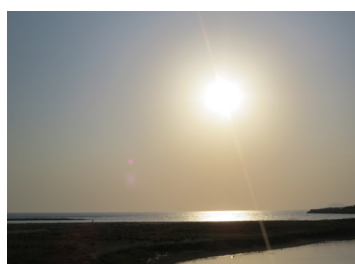
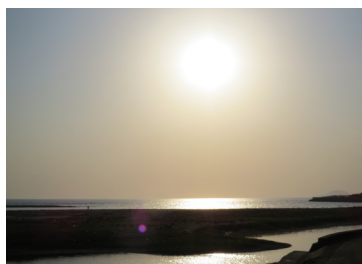
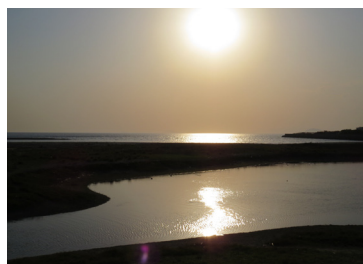
くりかえし
くりかえし
飽かずお話を求める
幼子にも似て

それが
くりかえし
くりかえし
映し出される
黄昏の光景だったとしても

くりかえされる度ごとに
深まりつづける
新しい光の風景であることを
私は求めているのだ

私という旅人は
彼方へ往けば往くほどに
今ここに還ってくるのだから

私というもうひとりの私は
知らない私となって
今ここに還ってくるのだから



*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-964

2017.4.27



*愛媛県伊予市・大谷池にて

芽吹くものよ
うつろうものよ

季節は人をめぐり
人は季節をめぐり年を重ね

人は往くのか還るのか
季節は往くのか還るのか

変わるために時はあり
変わらぬために永遠はあるのか

時は永遠から生まれ
永遠へと帰還することで
深められてゆくのだろう

小さきものへの無限と
大きなものへの無限とが
永遠のなかで交わっているように

photopos-965

2017.4.28



波のことばを
聞きたいならば
風と話をすることだ
月の秘密を教わることだ

寄せては引いて
引いては寄せて
くりかえされるなぞなぞが
波のことばで語られる

星のことばを
聞きたいならば
数と話をすることだ
物の秘密を教わることだ

天にひろがる
はるかなカタチ
ぐるぐるめぐる幾何学が
数の言葉で語られる



*愛媛県今治市菊間町にて

photopos-966

2017.4.29



*愛媛県今治市菊間町にて

形のなかには
時間が織り込まれている
時間のない形は
あるのだろうか

刹那のなかには
動きはあるのだろうか
動きのない刹那は
あるのだろうか

永遠には
動きはあるのだろうか
動きのない永遠は
どんな永遠なのだろうか

光のなかには
闇はあるのだろうか
闇のない光は
見ることができるのだろうか

無限に大きいものは
その無限に大きいものより
もっと大きいものに
どのようにして包まれているのだろうか

無限に小さいものは
その無限に小さいものより
もっと小さいものを
どのようにして包んでいるのだろうか

私のなかには
汝が織り込まれている
汝のいない私は
存在しているのだろうか

photopos-967

2017.4.30



青と白

空と風

分かちきれない

そのあわいに漂う

イエスとノー

その境目に開いてしまった

傷の深みの切なさを

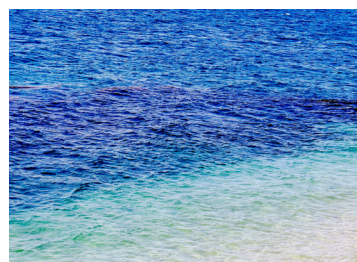
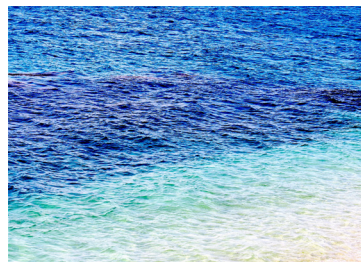
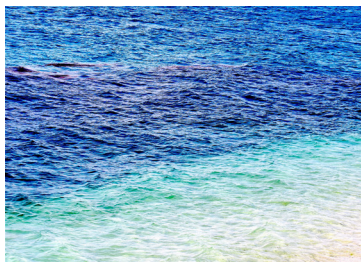
静かに包むように

私とあなた

その間に開いてしまった

距離の遠さの悲しさを

やさしく癒やすように



*愛媛県今治市菊間町にて

photopos-968

2017.5.1

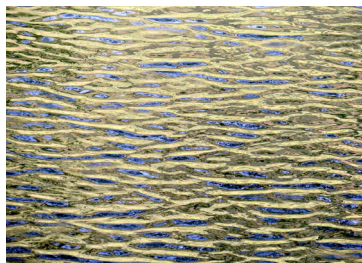


そこに
音色を聴くか
色彩を見るかなど
さして問題ではない

そのなかに
じぶんがいるかどうか
そのことこそが
問われねばならない

ましていまが
いつであるか
ここが
どこであるかなど
問題にはならないのだ

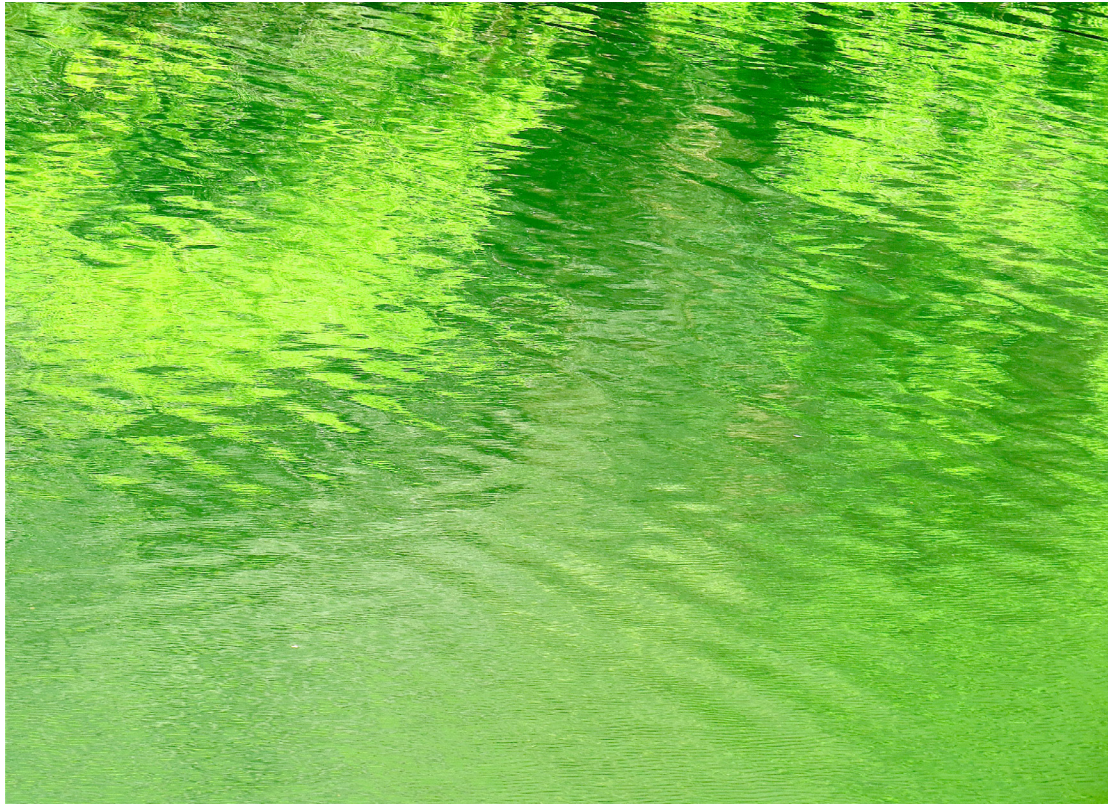
じぶんが
いまにいるかどうか
ここにいるかどうか
そのことこそを
問いなおしてみることだ



*愛媛県伊予市・大谷池にて

photopos-969

2017.5.2

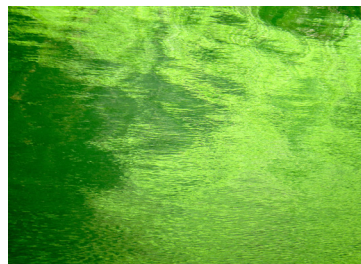
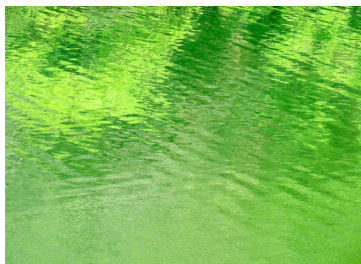


森を歩いて
森のことばを教わる

光の音楽を聴くには
樹の通奏低音の流れるなか
風や鳥に耳を澄ませる

夢を歩いて
影のことばを教わる

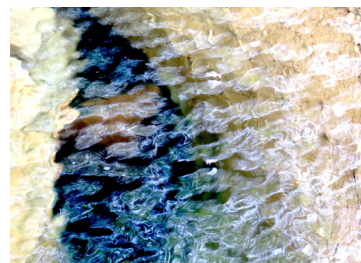
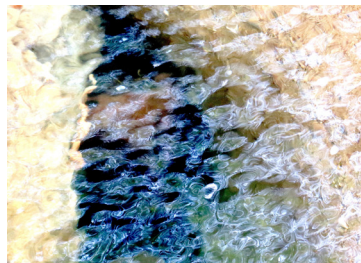
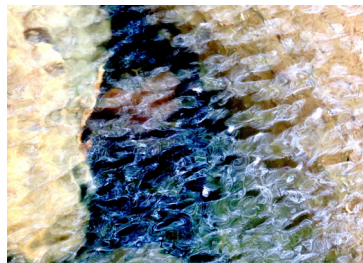
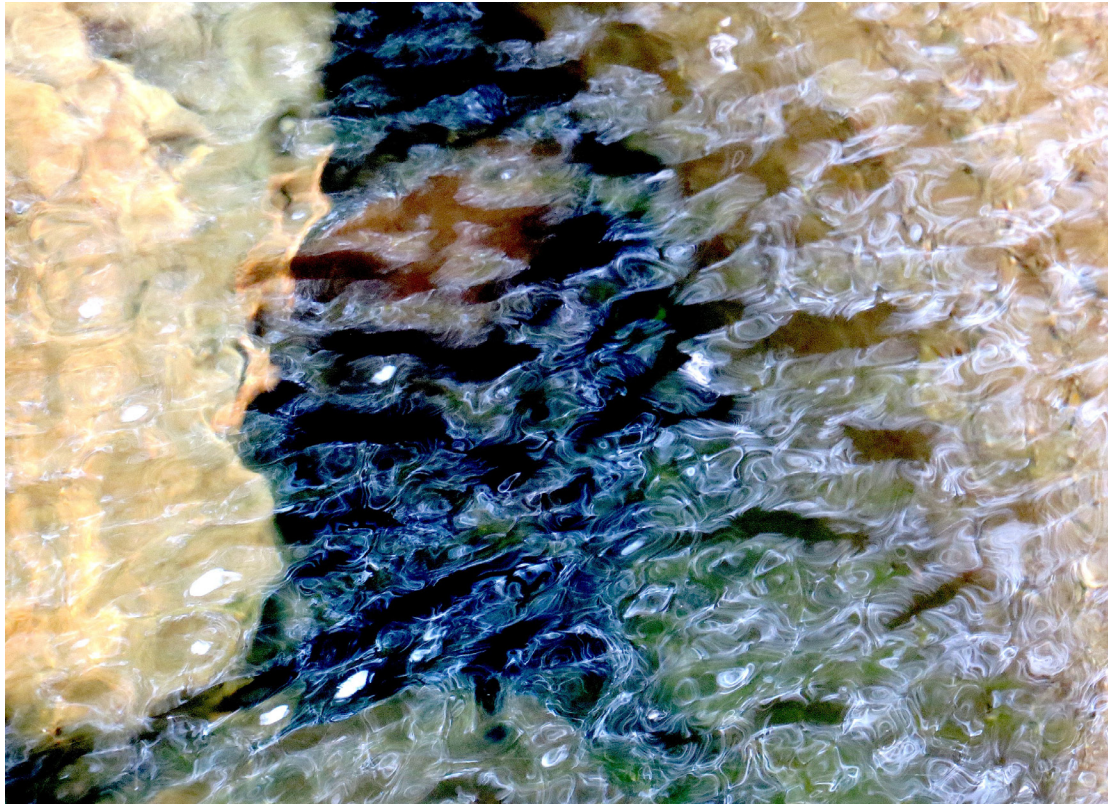
星の音楽を聴くには
夜の通奏低音の流れるなか
天と地の合わせ鏡に張られた弦を爪弾く



* 愛媛県伊予市・大谷池にて

photopos-970

2017.5.3



ボレロのように
踊れるかい
同じリズムで
光と闇のメロディーを繰り返しながら

軽やかに
飛ぶように
ステップを踏むんだ
天と地を行き来しながら

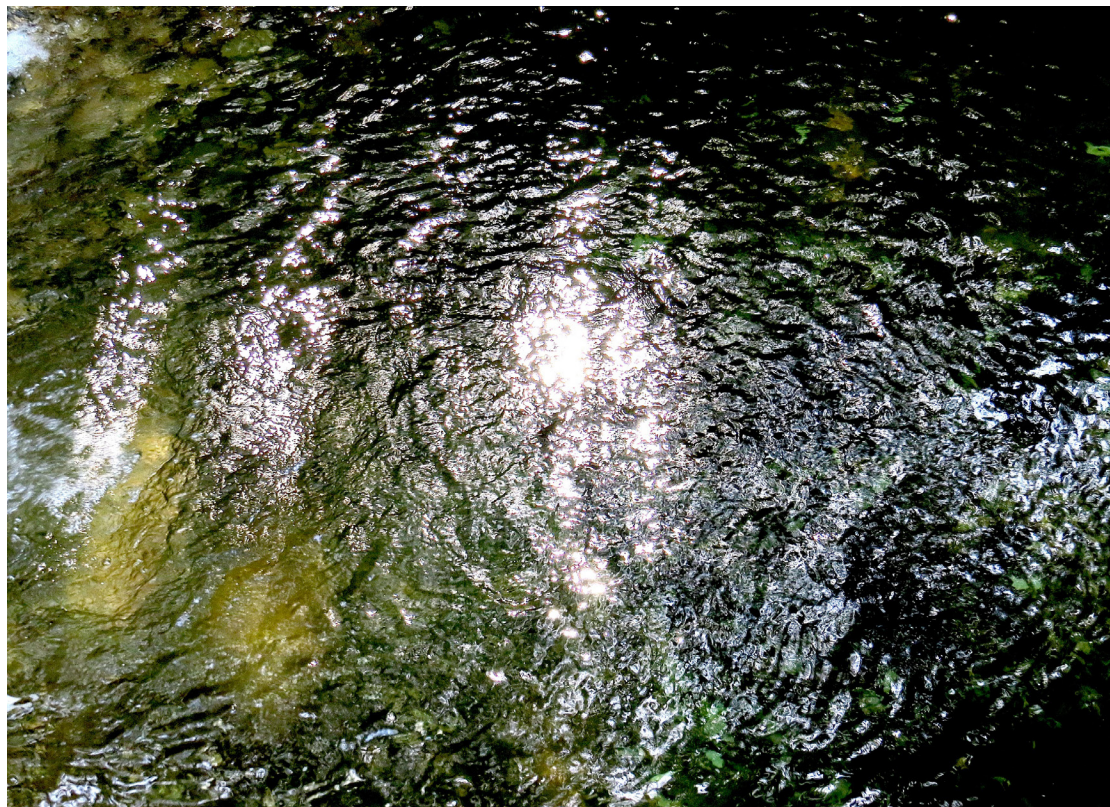
ボレロのように
話せるかい
同じリズムで
真実と虚構を繰り返しながら

軽やかに
笑うように
現実を超えるんだ
夢と現を行き来しながら

* 愛媛県東温市・滑川溪谷にて

photopos-971

2017.5.4



あなたの秘密を教えてください
そこにはあなたの光の種が
隠されているはずだから

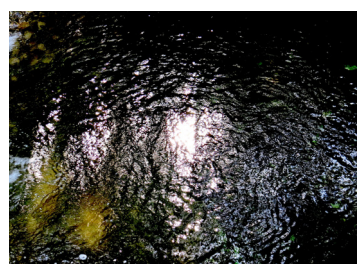
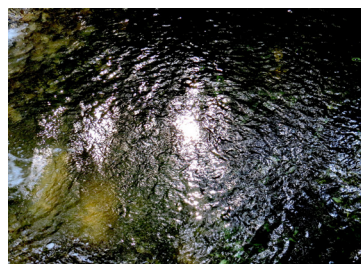
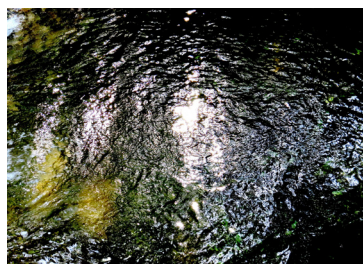
あなたの誰にもいえない嘘を教えてください
そこにこそあなたのほんとうが
隠されているはずだから

あなたの深い悲しみを教えてください
そこにはあなたの生の理由が
隠されているはずだから

あなたの忘れた歌を思い出してください
そこにはあなたの旋律が
隠されているはずだから

あなたのほんとうの名前を思い出してください
そこにはあなたの真実が
隠されているはずだから

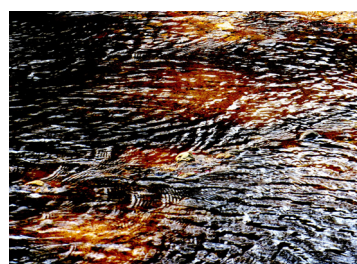
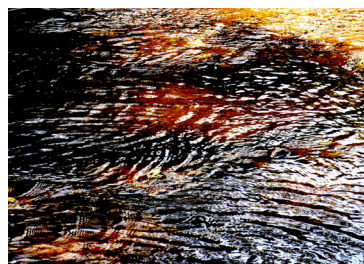
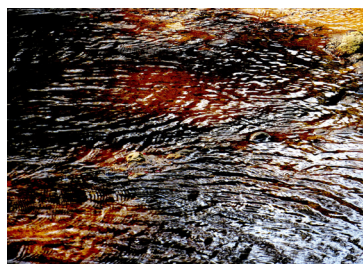
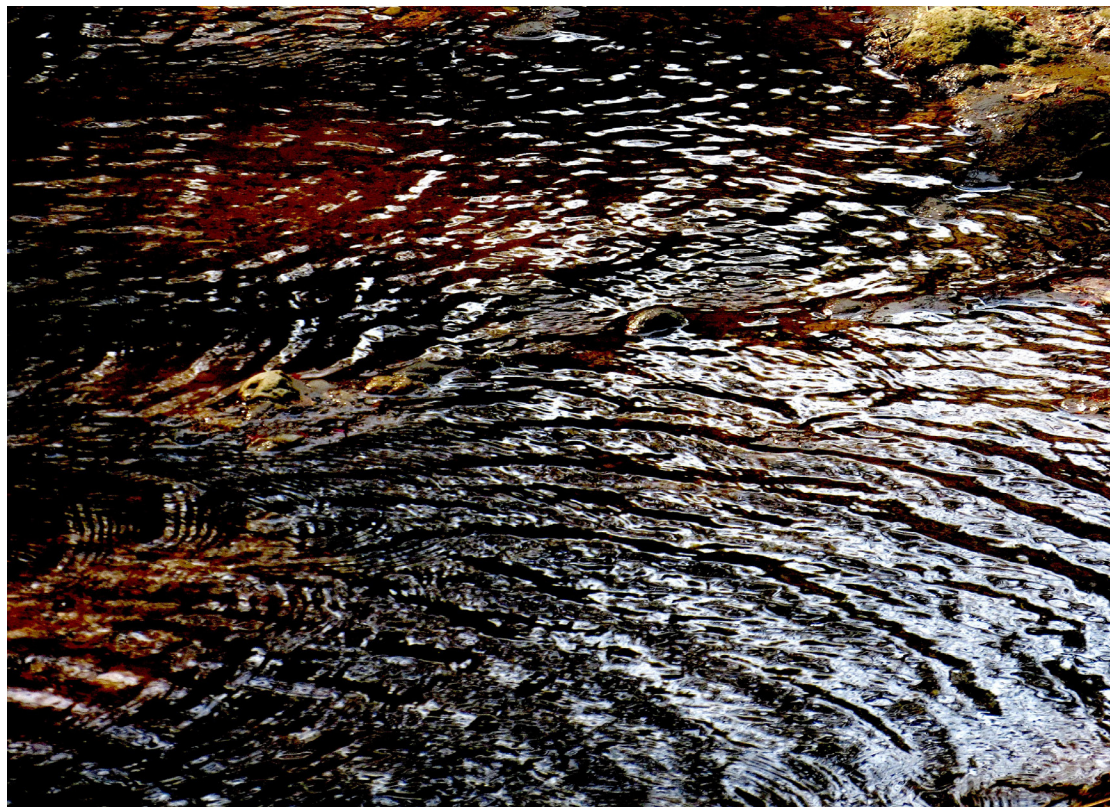
あなたがあなたである祝祭を思い出してください
そこにこそあなたの源が
隠されているはずだから



*愛媛県東温市・滑川溪谷にて

photopos-972

2017.5.5



*愛媛県東温市・滑川溪谷にて

わたしのなかの水よ

変わらず
流れ続けることで
変わり続けながら
生まれてゆく形のように
わたしの今があるならば

流れとともに
わたしはあるのだ

たとえその水が
ときに涙となって
流れたとしても

わたしのなかの風よ

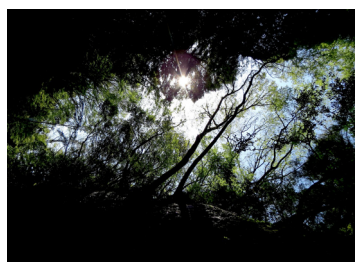
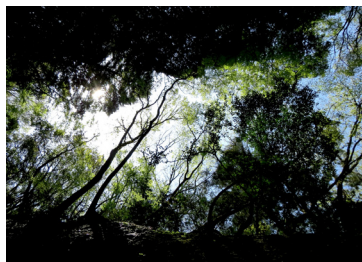
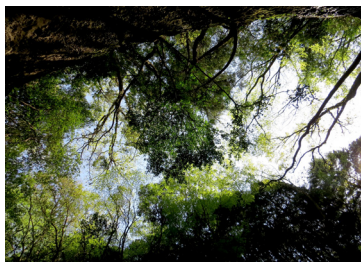
変わらず
吹き続けることで
変わり続けながら
姿をとどめないままに
わたしの今があるならば

風の行方とともに
わたしはあるのだ

たとえその風が
ときに嵐となって
吹き荒れたとしても

photopos-973

2017.5.6



*愛媛県東温市・滑川溪谷にて

忘却の森を歩けば
置き去りにされた
言葉や約束が
光と闇の模様を作る

私は何を
忘れようとしたのか
何を恐れていたのか
忘れたことさえ
闇のなかに置き去りにして

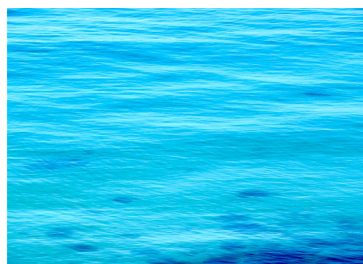
言いそびれた言葉
罪のない嘘
たわいのない約束
不用意なしぐさ
そんなくさぐさの戯れを
私は森に残してきたのだ

忘却の森を
忘却の私とともに
知らない私が歩いている

静かな風が渡り
穏やかな光が注ぎ
やがて二人が一人になり
一人がまた無数の私になる

photopos-974

2017.5.7



*愛媛県松山市浅海原にて

わが海は
悲しみの衣
時のなかをゆれつつ
碧い糸を紡ぐ

わが空は
儚さの詩
時のなかを流れつつ
碧い言の葉を浮かべる

わが土は
頑なな器
時のなかに埋もれつつ
碧い祈りを求める

されど

わが手は
わが足は
未知の作り手
時のなかを遊びつつ
碧い無限を夢見る

photopos-975

2017.5.8



光の花を見たかい
夢と現のあいだを流れる
川のほとりに咲く花さ

花の青を見たかい
天と地のあいだを翔ぶ
鳥たちの歌う花さ

青の言葉を聞いたかい
生と死のあいだで交わされる
沈黙の祈りだという

言葉の秘密を聞いたかい
神と人のあいだをつなぐ
初めにあった命の光だという



* 愛媛県松山市浅海原にて